

うに郷通信

No.147
令和3年(2021)10月

発行：宇仁郷まちづくり協議会（編集：情報部会）

宇仁の朝市青野店 リニューアルオープン

宇仁の朝市青野店は、根日女の湯閉店により 2013 年 11 月から岡田電気の駐車場をお借りして開催してきました。このたび、青野町公民館の内外装改修と駐車場スペースの整備が行われたことにもない、駐車スペースの一角に物置用のコンテナと新しいテントを設置して、9 月 5 日(日)から営業を開始しています。

テントは 2009 年の朝市開始以来の愛着のあるものでしたが老朽化が激しく、破れた箇所を何度もテープ等で修理しており、これ以上の使用には耐えないと判断してこの機会にまちづくり協議会で新調してもらいました。以前より目立つ黄色いテントですので県道を走る車からもよく確認でき、お客さんが増えることを期待しています。

宇仁の朝市は、地元でとれた新鮮で安全安心な野菜を安価で販売しています。また、いきいきサロンのような雰囲気のでこの場としても活用していただいています。朝市開始以来 12 年が経過しましたが、スタッフの気持ちは当時の若さのままで、お客さんから元気をもらい、また、お客さんに元気を与えています。

これからもぼかば温泉での朝市とともに末永くご愛顧いただきますようお願いいたします。
(宇仁の朝市部会)



小印南ふれあい交流会活動

加西市のホームページで加西市の 65 歳以上のコロナワクチン接種率は 87.8%ということを知り、町内の人におうち時間どうされていますか？と問いかけると、「何もせずに居るのもしんどいなあ…」「家から出るのが苦になってきた」と返って来ました。

自粛はしても萎縮はいけないから、家から一歩出て人との交流をする事で健康寿命が 1 日でも長く伸びるからと、身近に出来る世界に一つしか無い自分好みのハーバリウムを作りませんか？と声掛けをすると、「ウンウン」「しょうしょう！」「参加するよ！！」の言葉に励まされて、8 月 31 日に感染予防対策はもちろん一人ひとりが感染しない感染させないと心掛けて行いました。

町内でも初めて見る人初めて話が出来た人で、久しぶりのホールは素敵な笑顔と元気な声はマスクを通してでも分かりました。短い時間でしたがとても楽しく過ごせたことは良かったし嬉しかったです。後日「綺麗やなあ…」「あれどうしたん」「誰が作ったの？」と知人に色々聞かれたと聞き、良かった良かったと心の中でつぶやきました。次回 11 月 30 日(火)クリスマスリース作りを予定しています。楽しみにしていてね、大勢の参加を待っています。

(片岡あき子)



宇仁郷歴史資料館だより

Vol. 2.05

新刊紹介 渋沢栄一に関する書籍

NHK のテレビドラマ「晴天を衝け」の主人公であり、2024 年に発行される新一万円札の肖像で登場する渋沢栄一翁に関する書籍を購入しました。コミック 3 冊、テレビドラマの解説も含んでいます。尊皇攘夷を目指したり、一橋慶喜に仕えたり、フランス留学で会得した知識をもとに日本の大実業家として活躍した渋沢栄一翁の波乱万丈の生きざまをこれらの書籍で実感してみてください。



開館日 毎日曜日9時30分～12時

宇仁小学校の思い出 ⑦ ～夢のような二年間～

平成26年4月、私が着任した宇仁小学校は、竣工したばかりの新校舎が輝いていました。竣工までの苦労を校区の皆様や先生方と分かち合うことなく、完成したばかりの新校舎に校長として赴任することには心苦しさを感



じたものです。そのような私を、校区の皆様や先生方が温かく迎え入れて下さいました。どれほどありがたかったことか、今でも感謝の気持ちでいっぱいです。



1年目の思い出としては、まず、着任して間もない4月26日に挙行された「創立120周年記念式典」が思い浮かびます。実行委員をはじめとする校区の皆様や先輩諸先生方の宇仁小学校に対する熱い思いがひしひしと

伝わってきて、学校を預かる責任の重さを痛感し身の引き締まる思いでした。また、和太鼓を演奏したりソーラン節を踊ったりする宇仁っ子の堂々とした姿に感激したことを覚えています。

2番目の思い出は、播磨東一円から約130人の先生方を迎えて開催した「播磨東地区算数教育研究発表会」です。子どもの数をはるかに上回る先生方に囲まれても、宇仁っ子は堂々と意見を出して学び合い、参加された先生方から高い評価をいただきました。

3番目は、校区の皆様との絆を深めた「運動会」や「さつまいも祭り」、「卒業式」などの学校行事です。学校を温かく見守り支援を惜しまない校区の皆様の手厚い心遣いに触れ、また、皆様の期待に応えようとする宇仁っ子の頑張り、特に6年生の活躍を目の当たりにして、胸が熱くなりました。

2年目の平成27年10月には、まちづくり協議会と学校とが協力して整備した「宇仁郷歴史資料館」がオープンしました。それに合わせて結成した「宇仁っ子ふるさとガイド」の練習やデビューも忘れられない思い出です。この年のさつまいも祭りでは、先生方から自分たちも出演して感謝の気持ちを伝えたいとの声があがり、教職員全員で合奏を披露しました。あの演奏も懐かしい思い出です。

宇仁小学校は、全校生70人足らずの小さな学校です。けれども、「一人一人が主人公」「あいさつ・なかよし日本一の学校」というスローガンのもと、自分の考えをしっかりと持ち、人前で堂々と意見を述べたり表現したりできる子どもたちは、新校舎のごとく輝いていました。校区の皆様を支えられ、素晴らしい子どもたちや魅力的な先生方と過ごした2年間は、公立小学校のあるべき姿を教えられた夢のような日々でした。私にとって生涯の宝物です。



宇仁郷歴史資料館オープン記念式典

(H26.4.1～H28.3.31 校長 楠田 次郎)

宇仁郷のあゆみ 第一章 宇仁郷の黎明期④

④-3 鉄道ファンがJR加古川線に寄せる夢

鉄道ファンがインターネット上で、北陸新幹線が敦賀・大阪まで延伸されれば大阪～金沢間を運行している特急サンダーバードの車両を観光電車として転用し、大阪～加古川～谷川の加古川線に観光電車を走らせ城崎温泉に向かわせる、あるいは大阪に向かう環状ルート構想を提案していました。なぜ加古川線なのか、その理由の一つとして、播但線は姫路～寺前間は電化されたが生野トンネルが狭隘のため寺前～和田山間が非電化区間になっており特急電車が走れないと言っております。

沿線の各市町も歓迎する話題で、地元も奮起し観光スポットの選択と集中をして、例えば滝野駅の「闘龍灘・光明寺・播磨中央公園」、日本へそ公園駅の「子午線・岡之山美術館」、北条鉄道法華口駅の「法華山一乗寺・鶉野飛行場遺跡・玉丘古墳」等の施設整備とホテル等の観光客受け入れ体制を、利用促進協議会と各市町の観光協会・地元が北播磨の広域な活性化課題として取り組み、外部に情報発信をしていけば旅行会社も関心を持つでしょうし、鉄道ファンの夢が現実味を帯びてくるのではないのでしょうか。



特急サンダーバード 681系電車